

Debian notebook の作り方

茂木嘉之

2025 年 1 月 1 日

目次

1	Debian notebook の作ろうと思った きっかけ	1
2	インストール方法	1
3	debian notebook へのアプリのイン ストール	1
4	日本語の設定	2
5	TexStudio	3
6	L ^A T _E X のコマンド	3
7	L ^A T _E X 文書完成まで	4
8	終わりに	4

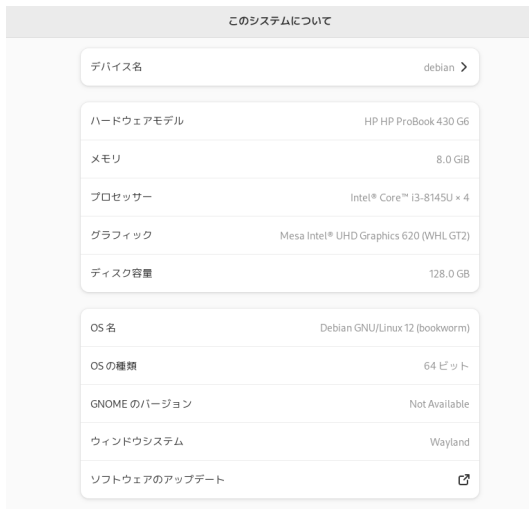


図 2 debian notebook のスペック

Inkscape

Synaptic でのインストール

統計 R: r-base

ソフトウェアからの検索にてインストール

Kdenlive

MuseScore

Shotwell

Xcwcw

python3 はインストール済

Emacs

Emacs をインストールする。

まずは、一番がこのエディタである。

```
# apt install emacs
```

図 3 が debian notebook で、最愛のエディタの emacs をインストールしたところ

まだ、まともな日本語変換ができていない。

4 日本語の設定

日本語のかな入力

Raspberry-pi と比較すると日本語入力の設定は割合簡単だった。

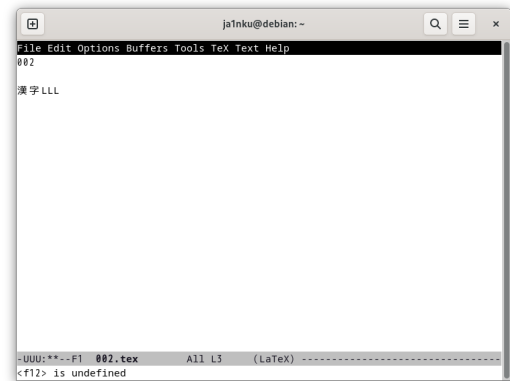


図 3 debian12 で emacs -nw

Raspberry-pi では、ローマ字入力はうまく行ってもかな入力になるとまるでだめの現象がでて苦労したが、今回のデビアンではデフォルトでうまく行った。

CapsLock の扱い方

図 4 は、日本語キー特有の

capslock キーを使い勝手のよい

Ctrl に変更するための設定の方法

この設定にできるかどうか、

ノートパソコンとして、

Mac 仕様になるのか、ならないのか

の境目だ。

capsLock と ctrl を入れ替える方法

手順は簡単だった。

Tweaks を開き

図 4 のように

追加のレイアウトオプションで CapsLock を Ctrl として扱うをチェックするだけ

いいね。とくに emacs は全く機能が違うようでなくちゃ

Mozc の変更

IME 切り替えを

キーボード手前の 2 つのキーでできるように変

更する。

Muhenkan/IME 無効 (off)

henkan/IME 有効 (on)

を、Mozc の設定から変更する。

この設定で、キーボード入力は、
かな入力の

mac 風の漢字、英数変換となり、抜群の使用性能の向上 up になる。

このような、ok とか、途中で English が入っても

数字の、4,520 のような半角が文章に入ってもまったく不自由でない。

ひだりの小指だけに仕事させるのは酷だよ。

かな入力による漢字変換

mac なみに手前のキー^{*3}だけで IME の設定が変わるように変更してみた。

かなり、便利うれしい。FB だね。

これが本来の姿

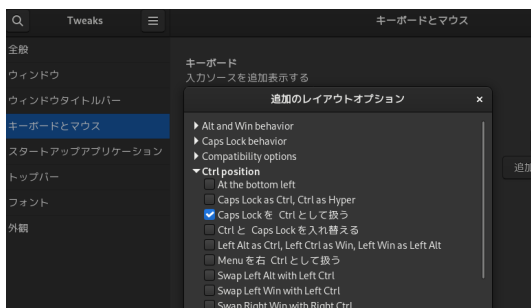


図 4 Caps lock キーを Ctrl キーに変えた

5 TexStudio

TexLive のインストール

```
#*4 apt install texlive -full -y
```

でインストール

TexStudio の設定

*3 Muhenkan/Henkan

*4 su: スーパーユーザーモードでインストール

インストールは、Texlive のインストール後#

```
apt install texstudio
```

でインストールする。

修正し保存動作不要で F5 キーのみで

コンパイルとプレビューできる。

TexStudio は L^AT_EX 作成には最高のツールかもしれん。

TexWorks なんかより断然いいぞ。

TexStudio 設定

図 5 での設定変更は、フォントサイズくらいだろうか。今回はデフォルトのメニューである。



図 5 TexStudio の設定変更 1

6 L^AT_EX のコマンド

TexStudio コマンド

図 6 は、L^AT_EX を、プログラマリストから platex を選択している。このあたりは、昔の設定なので、私はこれで十分なのだが。最新の方法があれば教えてください。

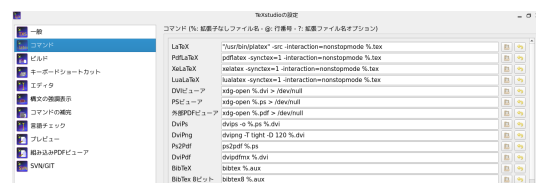


図 6 TexStudio の設定変更 2

Emacs でのコマンドラインでの L^AT_EX 動作

Emacs で tex 文書を編集したときに一時コンパイルとプレビューをするときに使うコマンドは、
esc-!

platex main.tex

エラーチェックし dvi が output できたら

esc-!

dvipdfmx main.dvi

として pdf プレビューをするがその後、データ修正をする場合は、pdf プレビューのままですべて pdf を専有してしまっていると、その pdf に書き込みをしていかない。

コマンドラインからの応用でセットアップ

コマンドラインからのセットアップを応用し tex 用エディタの設定に適用してみたのが、今回の TeXStudio となる。

7 L^AT_EX 文書完成まで

TeXStudio ビルドの設定

図 7 のとおり設定変更した。変更点としては、ビルドと表示部

DVI →PDF チェーンとする。

既定のコンパイラは、

図 6 で

設定変更した、platex をリンクしている

LaTeX とする。

L^AT_EX 文章の完成

この文書は、今回作成した

debian notebook

にて作成した。

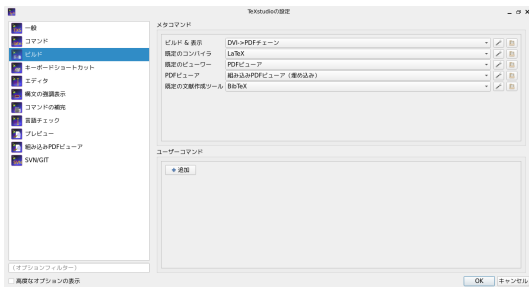


図 7 TeXStudio の設定変更 3

8 終わりに

とにかく、Debian のノートパソコンが完成した。正月の初売りで、MacBookPro を買いたくなる衝動が抑えられるといいのだけ。

はて、どうなるかは、お楽しみ。まあ、Mac はきらいではない。

両立かもね。